

注3

大学番号：私113

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

敬愛大学 国際学部 こども学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 千葉敬愛学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 修学支援室

職名・氏名 シヨウガク シ エン シツ チョウ カトウ シゲオ
修学支援室長 加藤 茂夫

電話番号 043-251-6363

（夜間） 043-251-6363

F A X 043-251-6407

e-mail katou@u-keiai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	頁
1. 調査対象大学等の概要等	1
(1) 設置者	1
(2) 大学名	1
(3) 大学の位置	1
(4) 管理運営組織	1
(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等	2
① 調査対象学部等の名称、定員	2
② 調査対象学部等の入学者の状況	2
③ 調査対象学部等の在学者の状況	3
④ 調査対象学部等の退学者等の状況	4
2. 授業科目の概要	5
(1) 授業科目表	5～8
(2) 授業科目数	9
(3) 未開講科目	10
(4) 廃止科目	10
(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	10
(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	10
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
(1) 担当教員表	13 ～ 16
(2) 専任教員数	17
(3) 専任教員辞任等の理由	18
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	18
6. 留意事項に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20
(1) 設置計画変更事項等	20
(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)	21 ～ 24
(3) 自己点検・評価等に関する事項	25
(4) 情報公表に関する事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 千葉敬愛学園

(2) 大学名

敬愛大学

(3) 大学の位置

〒263-8588

千葉県千葉市稲毛区穴川一丁目5番21号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(コンドウ タツオ) 近藤 龍夫 (平成19年4月)		
学長	(ドイ オサム) 土井 修 (平成18年8月)		
学部長	(ナカ ムラ ケイゾウ) 中村 圭三 (平成22年4月)		
学科長等		(コシ カワ ヒロ アキ) 越川 浩明 (平成23年4月)	こども学科設置による 平成23年4月 (23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 こども学科 学士(こども学)	4年	50人	3年次 人	200人	平成24年4月学則改正届出済(24)50名から入学定員を70名3年次編入を2名とした
	4	70	2	284	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50人 () []	人	70人 () []	人	() []	人	() []	人	1.07倍	
志願者数	112 () []	— () []	124 () []	— () []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	110 () []	— () []	122 () []	— () []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	90 () []	— () []	93 () []	— () []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	65 () []	— () []	60 () []	— () []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.3		0.85							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 65	[-] —	[-] 60	[-]	[]	[]	[]	[]	
2 年次	/		[-] 64	[-]	[]	[]	[]	[]	
3 年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4 年次	/		/		/		[]	[]	
計	[-] 65		[-] 124		[]		[]		

- (注) ・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	65 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	経済的事由	1.5 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	60 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
合 計	125 人	1 人					0.8 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

(国際学部 こども学科)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目 学部共通基礎科目	敬天愛人講座	1前		2		○											
	憲法	1前後	2			○											
	敬愛プログラム	1		2		○										2年間受講者なし廃止科目(24)	
	健康運動科学	1前後		2		○		○									
	College English I	1前	2			○					1					担当者変更 佐藤佳子講師(24)	
	College English II	1後	2			○					1					担当者変更 佐藤佳子講師(24)	
	情報処理I (情報基礎)	1前	1					○	1								
	情報処理II (プレゼンテーション演習)	1後		1				○	1								
	文章表現	1前	2			○				1							
	口頭表現	1後	2			○				1							
	基礎数学	1前		2		○			1								
	国際関係入門	1前		2		○											
	国際協力入門	1後		2		○											
	政治学入門	1後		2		○											
	政治学概論I	1後		2		○											科目名変更(23)
	法学入門	1後		2		○											
	経済学入門	1前		2		○											
	経済学概論I	1前		2		○											科目名変更(23)
	社会学入門	1後		2		○											
	世界の地理	1前		2		○											
	歴史学入門	1前後		2		○											
	文学入門	1後		2		○						1					区分変更学科基礎へ(23)
	日本の文学	1後		2		○						1					区分変更学部発展科目より(23)
	環境科学	1後		2		○											
	哲学概論	1前		2		○											
	哲学概論I	1前		2		○											科目名変更(23)
	近・現代の思想	1前		2		○											廃止科目(23)
	ユニバーサルコミュニケーション	1前		2		○											新設科目(23)
	公共の哲学	1前		2		○											廃止科目(23)
	情報概論	1前		2		○											新設科目(23)
	心理学	1後		2		○											
	房総の自然と文化	1後		2		○											
	千葉学I	1後		2		○											科目名変更(23)
	アジアの歴史と社会	1前後		2		○											
	アメリカの文化と社会	1前		2		○											
	アフリカの歴史と社会	1前		2		○											
	ヨーロッパの歴史と文化	1後		2		○											
	世界の民族	1後		2		○											
	世界の民族と宗教	1後		2		○											科目名変更(23)
	世界の農業	1後		2		○											
	世界の食と農	1後		2		○											科目名変更(23)
	世界の音楽	1後		2		○						1					区分変更学科専門科目へ(23)
	キャリア基礎教養	1前		2		○											
	キャリアデザインI	1前		2		○											科目名変更(23)
	ボランティア活動I	1前		2		○											
	ボランティア活動II	1後		2		○			○								
	英語学概論	1後		2		○											
	英米文学概論	1後		2		○											
	英文法	1前	2			○											配当年次変更(23)
	英文法	2前	2			○											
英語史	1前		2		○											配当年次変更(23)	
英語史	2前		2		○												
英語の音声	1後		2		○												
英語の音声	2後		2		○											配当年次変更(23)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
基 学	英語 Writing	1前	1				○											
	英語 Listening	1前	1				○											
	英語 Speaking	1後	1				○											
	English for Children I	1前		1			○											
	English for Children II	1後		1			○											
	Mother Goose I	1前		1			○											
	Mother Goose II	1後		1			○						1				担当コマ数調整による 担当者変更(24)	
	フランス語 I	1前		1			○											
	フランス語 II	1後		1			○											
	ポルトガル語 I	1前		1			○											
	ポルトガル語 II	1後		1			○											
	ロシア語 I	1前		1			⊖											廃止科目(23)
	ロシア語 II	1後		1			⊖											廃止科目(23)
	中国語 I	1前		1			○											
	中国語 II	1後		1			○											
	朝鮮語 I	1前		1			○											
	朝鮮語 II	1後		1			○											
	アラビア語 I	1前		1			⊖											科目名変更(23)
	外国語特殊 I	1前		1			○											科目名変更(23)
	アラビア語 II	1後		1			⊖											科目名変更(23)
外国語特殊 II	1後		1			⊖											科目名変更(23)	
小計 (52科目)		—	18	77			—		2	3	1						56科目1科目2単位減(24)	
小計 (56科目)		—		75			—											
学	教育原論 I	1前		2			○		1									
	教育原論 II	1後		2			○		1									
	教育相談	2前		2			○											
	発達心理学	1前		2			○											
	教育心理学	1後		2			○											
	教職概論	1後		2			○		1									
	国語	1後		2			○				1							
	書写	1前		1				○										
	読書入門	1後		2			○				1							
	文学入門	1前		2			○				1							
	社会	1前		2			○		1									区分変更 共通基礎より(23)
	算数	1後	2				○		1									前任者の退職による(24)
	数の不思議	2前		2			○		1									担当 田村孝(教授)
	かたちの数学	2後		2			○		1									
	理科	1後		2			○											
	理科の観察実験 I	2前		1				○		1								
	理科の観察実験 II	2後		1				○		1								
	生活	1前		2			○				1							
	音楽	1前	2				○				1							
	音楽と表現 I (合唱)	1前		1				○			1							
	音楽と表現 II (リコーダ)	2前		1				○			1							
	図画工作	1後		2			○											
	造形 I	2前		1				⊖										
造形と表現 I	2前		1				○											
造形 II	2後		1				⊖											科目名変更(23)
造形と表現 II	2後		1				○											
体育	1前		2			○												
小学校英語 I	1前		2			○						1						
小学校英語 II	1後		2			○						1						
小計 (30科目)		—	6	43			—		4	3	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部 発展科目	比較文化論	2前	2			○										廃止科目(23) 新設科目(23) 廃止科目(23) 廃止科目(23) 区分変更 学部基礎科目へ(23) 配当年次変更(23) 廃止科目(23) 科目名変更(23) 廃止科目(23) 配当年次変更(23) 専任採用担当田村孝(教授)(24) 配当年次変更(23) 廃止科目(23) 科目名変更(23) 配当年次変更(23)
	現代人口論	2前				○										
	日本地誌	2前				○										
	ジェンダーと社会	2前				○										
	比較文学	2前				○			1							
	教育法規	2後				○										
	民法I	2後				○										
	日本の文学	2後				○			1							
	日本社会と多文化共生	2後				○										
	日本社会と多文化共生	3後				○										
	コンピュータ概論	2後				○			1							
	キャリアデザイン	2前後				○										
	犯罪と現代社会	3前				○										
	国際社会と犯罪	3前				○										
	時事演習	3前				○		○								
	異文化コミュニケーション	3前				○										
	異文化コミュニケーション	2前				○										
	夫気・水環境論	3前				○										
	大気・水環境論	2前				○										
	国際社会学	3前				○										
	移民と現代社会	3前				○										
	世界の人権問題	3後				○										
	世界の人権論	3後				○										
	国際政治学	3後				○										
	国際連合の仕組みと活動	3後				○										
	国際連合の仕組みと活動	2後				○										
	平和・安全保障論	3後				○										
	環境と開発	3後				○										
	日本・東南アジア関係	3後				○										
	小計(17科目)	-		6	28				1	2	0					
専門科目								1	1							
学科 専門科目	子どもと家庭の関係論	2前				○			1							
	教育行政	2前				○										
	小学校英語指導法I	2前				○					1					
	小学校英語指導法II	2後				○					1					
	子どもとものづくり教育	2前				○			1							
	子どもと科学教育	2前				○			1						休講措置(24)	
	音楽教育史	2前				○			1						廃止科目(23)	
	世界の音楽	1後				○			1						区分変更共通基礎より(23)	
	児童文学論	2前				○			1							
	子どもの心と体	2前				○									専任教員の採用による(24) 担当 田中未央(講師)	
	教育方法・技術論	2前				○						1				
	共生支援教育	2前				○						1				
	子どもと地域の教育論	2後				○						1				
	子どもと安全教育	2後				○						1				
	学校の安全教育	2後				○						1			科目名変更(23)	
	いのちと環境	2後				○						1				
	子どもと法律	2後				○						1				
	児童福祉論	2後				○						1				
	日本の文化と子ども	2後				○						1				
	生徒指導論	2後				○						1			前任者の退職による(24) 担当 池谷美佐子(准教授)	
	子どもと遊び	2後				○						1				
	子どもと国際交流	2後				○						1				
	子どもとメディア	2後				○						1			休講措置(24)	
英米児童文学I	3前				○						1					
英米児童文学II	3後				○						1					
世界の子ども教育	3前				○						1					
国内スクーリングI	2集中															
国内スクーリングII	2集中															
海外スクーリングI	2集中															
海外スクーリングII	2集中															
海外語学研修I	2集中															
海外語学研修II	2集中															
小計(30科目)	-		14	46				3	4	1						
								2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門研究・演習	1年基礎演習	1通	2				○		0	2	1				担当コマ数変更に伴う変更(24)
	2年次専門研究	2通	4			○		1	2	1				担当コマ数変更に伴う変更(24)	
	3年次専門研究	3通	4			○		2	2	1					
	4年次専門研究	4通	4			○		2	3						
	卒業論文	4通	4	4		○		2	3						
	小計(5科目)	—	14	0		—			4	4	1	2			
教職科目	初等国語科指導法	2後		2		○				1					前任者の退職による(24) 担当 田村孝(教授)
	初等社会科指導法	2前		2		○		1							
	算数科指導法	2後		2		○		1							
	初等理科指導法	2前		2		○				1					
	生活科指導法	2前		2		○				1					
	初等音楽科指導法	2後		2		○				1					
	図画工作科指導法	2後		2		○									
	初等体育科指導法	2前		2		○									
	初等家庭科指導法	2後		2		○									
	道徳教育研究	2前		2		○									
	特別活動研究	2前		2		○			1					前任者の退職による(24) 担当 池谷美佐子(准教授)	
	教職実践演習	4前		2			○		1						
	教職実践演習(小学校)	4前		2			○		1					科目名変更(23)	
	教育実習 (事前・事後指導・教育実習)	3・4		5			○		1						
教育実践研究(小学校)	3		1			○		1					科目名変更(23)		
教育実習(小学校)	4		4			○		1							
小計(14科目)	—	0	29		—			4	3	0					
合計(153科目)		—	60	227		—		4	4	1				152科目1科目2単位減	
合計(152科目)		—		225		—		4	4	2				専任教員採用(1名退職 2名採用) (24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	131	0	160	29	124	0	153	(23)
				[△7]	[]	[]	[△7]	
				29	123	0	152	1科目廃止(24)
				[]	[△1]	[]	[△1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、

別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画

からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	近・現代の思想	2	1	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
2	公共の哲学	2	1	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
3	ロシア語Ⅰ	1	1	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
4	ロシア語Ⅱ	1	1	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
5	現代人口論	2	2	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
6	ジェンダーと社会	2	2	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
7	民法Ⅰ	2	2	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
8	コンピュータ概論	2	2	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
9	時事演習	2	3	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
10	移民と現代社会	2	3	一般	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
11	音楽教育史	2	2	専門	選択	国際学科カリキュラム再編成に伴う廃止(23)
12	敬愛プログラム	2	1	一般	選択	受講者なし 廃止科目(24)

- (注) ・ 届出時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「こども学科」届け出後に「国際学科」のカリキュラム改正が実施され, 学部共通科目等の整合性を図るため科目を整理した。 設置開設年度当初のカリキュラム変更であるため, 学生の不利益となることはないと判断した。(23) 23年、24年の2年間にわたり受講者がいないため, 廃止科目とした。(24)</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	12	=	0.07
認可時の計画の授業科目数の計	160		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の	計	共有する他の学校の校地 短大: 12,109㎡ 高校: 34,669㎡ 校舎敷地: 13,827㎡ 運動場: 20,842㎡ 収容定員: 1,371人			
	校舎敷地	5,630㎡	16,208㎡	5,725㎡	27,563㎡				
	運動場用地	0㎡	7,981㎡	0㎡	71,981㎡				
	小 計	5,630㎡	88,189㎡	5,725㎡	99,544㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
合 計	5,630㎡	88,189㎡	5,725㎡	99,544㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	21,542㎡ (21,542㎡)	852㎡ (852㎡)	10,642㎡ (10,642㎡)	33,018㎡ (33,018㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	22室	12室	4室	7室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成23年3月 1名定年退職、 平成24年4月専任教授1名、専 任講師1名 を新規採用のため(24)			
	国際学部 こども学科		10 9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学・短大の共有分 図書 227,426冊 233,106冊 うち外国書 (45,466) (45,952) 学術雑誌 248種 うち外国書 (45,466) 電子ジャーナル 21- 19 うち外国書 (2)	
	国際学部	45,280 [11,592] -(41,178 [11,025]) (43,086 [11,217])	63 [26] (48 [26])	21 [2] (21 [2]) (19 [2])	544 (-526) (545)	300 (235)	() ()		
	計	45,280 [11,592] -(41,178 [11,025]) (43,086 [11,217])	63 [26] (48 [26])	21 [2] (21 [2]) (19 [2])	544 (-526) (545)	300 (235)	() ()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	2,351.8㎡	366		250,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,920.77㎡	グラウンド		トレーニングルーム					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員の教育研究活動の終日 を回るため研究費を増額 (24)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	5,000千円 円	5,000千円 4,300千円	17,000千円	
	共同研究費等	2,000千円 4,168千円	8,000千円 17,368千円	設備購入費	1,500千円 1,500千円	1,500千円 1,533千円	6,000千円 6,033千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,270千円	第2年次 980千円	第3年次 980千円	第4年次 980千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、寄付金等							

(注)・届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	敬愛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
経済学部 経済学科	4年	260人	25人	1,065人	学士	0.81倍	昭和41年	千葉県稲毛区穴川1丁目-5番-21号	
国際学部 国際学科	4	120	36	516	学士 (国際学)	0.9	平成19年		
大学の名称	千葉敬愛短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
初等教育科	2年	150人	一人	300人	短期大学 (教育学)	1.22倍	昭和25年	千葉県佐倉市山王1丁目-9番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科(A C対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況
(国際学部 こども学科)

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢			
専	教授	コシカワ ヒロアキ 越川 浩明 <平成23年4月>	68 (高)	専	教授	コシカワ ヒロアキ 越川 浩明 <平成23年4月>	69 (高)	基礎数学 算数 数の不思議 かたちの数学 算数科指導法 3年次専門研究 4年次専門研究 3年次専門研究 1年基礎演習 2年基礎演習	担当コマ数調整による減(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24)	
専	教授	バンドウ タケシ 坂東 信司 <平成23年4月>	70 (高)					初等社会科指導法 特別活動研究 生徒指導論	定年退職(24年3月)	
				専	教授	タムラ タカシ 田村 孝 <平成24年4月>	65	初等社会科指導法 社会 異文化コミュニケーション 1年基礎演習 2年専門演習 3年専門演習	前任者の定年退職に伴う 新規採用者(24)	
専	教授	タグチ イサオ 田口 功 <平成23年4月>	59	専	教授	タグチ イサオ 田口 功 <平成23年4月>	60	コンピュータ概論 情報処理Ⅰ(情報基礎) 情報処理Ⅱ(プレゼンテーション演習) こどもものづくり教育 こどもとメディア こどもと科学教育 理科の観察実験Ⅱ 1年基礎演習 4年次専門研究	廃止科目(23) 必修科目の担当による休講措置(24) 3年次専門研究 4年次専門研究	
専	教授	サワザキ マサヒコ 澤崎 眞彦 <平成23年4月>	66	専	教授	タクウチ キヨシ 武内 清 <平成23年4月>	67	教職概論 教育原論Ⅰ 教育原論Ⅱ 音楽教育史 1年基礎演習 2年次専門研究 教育実習 こどもと地域の教育論 音楽教育史	教職課程再課程認定に当たり 中審査より教員審査上の指導 があったため担当者を変更(23) 担当コマ数調整による増(24) 廃止科目 担当者の退職による(23)	
専	准教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 <平成23年4月>	63	専	准教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 <平成23年4月>	64	生活 こどもと家庭の関係論 こどもと地域の教育論 こどもと安全教育 生活科指導法 3年次専門研究 4年次専門研究	こどもと地域の教育論 学校の安全教育 学校の安全教育 いのちと環境 1年基礎演習 特別活動研究 生徒指導論 敬天愛人講座※	担当コマ数調整による減(24) 科目名変更(23) 必修科目の担当による休講措置(24) 必修科目の担当による休講措置(24) 担当コマ数調整による増(24) 前任者の退職による担当者変更(24) 前任者の退職による担当者変更(24) 担当科目追加(24) オムニバス授業
専	准教授	ヤマモト ヨウコ 山本 陽子 <平成23年4月>	57	専	准教授	ヤマモト ヨウコ 山本 陽子 <平成23年4月>	58	音楽 世界の音楽 世界のこども教育 音楽と表現Ⅰ(合唱) 音楽と表現Ⅱ(リコーダ) 音楽と表現Ⅲ(ピアノ) 初等音楽科指導法 1年基礎演習 2年次専門研究 3年次専門研究	世界の音楽 世界のこども教育 2年次専門研究	履修者数による休講措置(24) 履修者数による休講措置(24) 担当コマ数調整による減(24)
専	准教授	ハタナカ チアキ 畑中 千晶 <平成23年4月>	41	専	准教授	ハタナカ チアキ 畑中 千晶 <平成23年4月>	42	文学入門 国語 日本の文学 比較文学 日本の文化とこども 児童文学論 3年次専門研究	児童文学論 1年基礎演習 2年次専門研究 敬天愛人講座※	履修者数による休講措置(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当科目追加(24) オムニバス授業

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>		年齢	担当授業科目の名称
専	准教授	ヤマグチ マサユキ 山口 政之 <平成23年4月>	49	口頭表現 文章表現 読書入門 共生支援教育 初等国語指導法 教育実践演習 2年専門研究	専	准教授	ヤマグチ マサユキ 山口 政之 <平成23年4月>	50	教育実践研究(小学校) 4年次専門研究	科目名変更(23) 担当コマ数調整による増(24)
専	講師	サトウ ケイコ 佐藤 佳子 <平成23年4月>	29	小学校英語 I 小学校英語 II 小学校英語指導法 I 小学校英語指導法 II 英米児童文学 I 英米児童文学 II Mother Goose II	専	講師	サトウ ケイコ 佐藤 佳子 <平成23年4月>	30	小学校英語指導法 I 小学校英語指導法 II Mother Goose II Mother Goose I Mother Goose I College English I College English II 3年次専門研究 4年次専門研究	休講科目(24) 担当コマ数調整による減 担当コマ数調整による減(24) 担当科目追加(23) 担当コマ数調整による減(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24) 担当コマ数調整による増(24)
					専	講師	タナカ ミオ <平成24年4月>		心理学 教育相談 発達心理学 教育心理学 1年基礎演習 2年次専門研究 3年次専門研究	新規採用(24)
兼任	教授	ナカムラ ケイゾウ 中村 圭三 <平成23年4月>	63	環境科学 大気・水環境論 敬天愛人講座※	兼任	教授	ナカムラ ケイゾウ 中村 圭三 <平成23年4月>	64	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
				世界の人権問題 犯罪と現代社会 こどもと法律					世界の人権論 国際社会と犯罪	科目名変更(23) 科目名変更(23)
兼任	教授	ムラカワ ヨウコ 村川 庸子 <平成23年4月>	57	比較文化論 移民と現代社会 敬天愛人講座※	兼任	教授	ムラカワ ヨウコ 村川 庸子 <平成23年4月>	58	移民と現代社会 敬天愛人講座※	廃止科目(23) 担当者変更(24) オムニバス授業
兼任	教授	タカダ ヨウコ 高田 洋子 <平成23年4月>	58	日本・東南アジア関係	兼任	教授	タカダ ヨウコ 高田 洋子 <平成23年4月>	59	敬天愛人講座※	担当科目追加(24) オムニバス授業
	教授	ショウジ マリコ 庄司 真理子 <平成23年4月>	54	国際関係法 I 国際連合の仕組みと活動 平和・安全保障論 こどもと国際交流 国際関係入門 敬天愛人講座※	兼任	教授	ショウジ マリコ 庄司 真理子 <平成23年4月>	55	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
	教授	ヤマモト タケン 山本 健 <平成23年4月>	59	歴史学入門 ボランティア活動 II 敬天愛人講座※	兼任	教授	ヤマモト タケン 山本 健 <平成23年4月>	60	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 <平成23年4月>	60	コンピュータ概論	兼任	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 <平成23年4月>	60	コンピュータ概論 情報概論	廃止科目(23) 新設科目(23)
兼任	教授	イエチカ リョウコ 家近 亮子 <平成23年4月>	58	アジアの歴史と社会						
兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 <平成23年4月>	56	国際協力入門 公共の哲学 国際協力論 国際社会学	兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 <平成23年4月>	57	公共の哲学 ボランティア活動 I	廃止科目(23) 担当者変更(24)
兼任	教授	アリマ ヨウコ 有馬 容子 <平成23年4月>	57	College English I College English II	兼任	教授	アリマ ヨウコ 有馬 容子 <平成23年4月>	57	英米文学概論	担当科目追加(23)
兼任	准教授	ヤナギハラ ユミコ 柳原 由美子 <平成23年4月>	63	英語の音声 教育方法・技術論 College English I College English II						
兼任	准教授	マスイ ユキミ 増井 由紀美 <平成23年4月>	53	英語 Writing アメリカの文化と社会 College English I College English II	兼任	准教授	マスイ ユキミ 増井 由紀美 <平成23年4月>	54	英語 Writing College English I College English II	担当者変更(24) 担当者変更(24) 担当者変更(24)
兼任	准教授	クシダ ヒサヨ 榑田 久代 <平成23年4月>	44	政治学入門 国際政治学	兼任	准教授	クシダ ヒサヨ 榑田 久代 <平成23年4月>	44	政治学概論 I	科目名変更(23)
					兼任	講師	カネコ シン 金子 新 <平成23年4月>	36	国際政治学	担当者変更(23)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>		年齢	担当授業科目の名称
兼任	准教授	オリイ ケイスケ 織井 啓介 <平成23年4月>	53	国際経済学 国際金融論						
兼任	准教授	ヤザワ タツヒロ 矢澤 達弘 <平成23年4月>	43	世界の地理	兼任	講師	ヤチ タカシ 谷地 隆 <平成23年4月>	59	世界の地理	23年3月矢澤准教授退職のため 担当者変更(23)
				ポルトガル語 I	兼任	講師	ヤザワ タツヒロ 矢澤 達弘 <平成23年4月>	43	ポルトガル語 I	矢澤准教授退職(23)
				ポルトガル語 II	兼任	講師	ヤザワ タツヒロ 矢澤 達弘 <平成23年4月>	43	ポルトガル語 II	前任者の辞任による担当者変更(24)
				アフリカの歴史と社会	兼任	講師	オオツキ タカシゲ 大月 隆成 <平成23年4月>	48	アフリカの歴史と社会	23年3月矢澤准教授退職のため 担当者変更(23)
				日本社会と多文化共生	兼任	講師	コバヤシ ソウメイ 小林 聡明 <平成23年4月>	36	日本社会と多文化共生	23年3月矢澤准教授退職のため 担当者変更(23)
兼任	講師	シェン・ヒルデ'アラン・イケマ シェン・ヒルデ'アラン・イケマ <平成23年4月>	58	英語 Listening	兼任	講師	シェン・ヒルデ'アラン・イケマ シェン・ヒルデ'アラン・イケマ <平成23年4月>	59	英語 Listening	担当者変更(24)
				英語 Speaking					英語 Speaking	担当者変更(24)
兼任	教授	ドイ オサム 土井 修 <平成23年4月>	65	敬天愛人講座※						
兼任	教授	ナカヤマ ユキオ 中山 幸夫 <平成23年4月>	54	道徳教育研究 敬天愛人講座※	兼任	教授	ナカヤマ ユキオ 中山 幸夫 <平成23年4月>	55	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
兼任	教授	フジタ アキオ 藤田 明男 <平成23年4月>	63	健康運動科学						
兼任	教授	オリハラ ユタカ 折原 裕 <平成23年4月>	59	近・現代の思想	兼任	教授	オリハラ ユタカ 折原 裕 <平成23年4月>	59	近・現代の思想	廃止科目(23)
兼任	教授	フジイ テルオ 藤井 輝男 <平成23年4月>	57	発達心理学 教育心理学 教育相談						
兼任	講師	オオヤマ ナカカツ 大山 中勝 <平成23年4月>	58	英語学概論 英文法						
兼任	講師	ニイポリ ツカサ 新堀 司 <平成23年4月>	46	英語史						
兼任	講師	ヤマカゲ スバル 山影 統 <平成23年4月>	32	中国語 I 中国語 II						
兼任	講師	シン キュソブ 申 奎燮 <平成23年4月>	54	朝鮮語 I 朝鮮語 II	兼任	講師	キム ササムソン 金 二順 <平成23年4月>	55	朝鮮語 I 朝鮮語 II	担当者変更(23)
										履修者数による休講措置(24)
										履修者数による休講措置(24)
兼任	講師	コバヤシ ヒデキ 小林 秀樹 <平成23年4月>	39	哲学概論 I						
兼任	講師	イタクラ ユカリ 板倉 由香里 <平成23年4月>	43	書写						
兼任	講師	コバシ サトコ 小橋 暁子 <平成23年4月>	36	図画工作 造形 I 造形 II 図画工作科指導法	兼任	講師	ヤマグチ ソウイチ 山口 荘一 <平成23年4月>	62	図画工作 造形と表現 I 造形と表現 II	科目名変更 担当者変更(23) 科目名変更 担当者変更(23) 科目名変更 担当者変更(23)
兼任	講師	フジイ キイチ 藤井 喜一 <平成23年4月>	64	体育 遊びと子ども スポーツ教育(実技) 初等体育科指導法	兼任	講師	フジイ キイチ 藤井 喜一 <平成23年4月>	65	遊びと子ども スポーツ教育(実技)	履修者数による休講措置(24) 履修者数による休講措置(24)
兼任	講師	セキ ヒロコ 関 弘子 <平成23年4月>	67	家庭 初等家庭科指導法						
兼任	講師	タニグチ トモマサ 谷口 智雅 <平成23年4月>	43	環境と開発	兼任	講師	トヨダ トモヨ 豊田 知世 <平成23年4月>	29	環境と開発	担当者変更(23) 履修者数による休講措置(24)
兼任	講師	ナカジマ レイコ 中嶋 励子 <平成23年4月>	52	心理学					心理学	担当者変更(24) 専任採用
兼任	講師	ヤドシロ タカオキ 宿城 高興 <平成23年4月>	68 (高)	房総の自然と文化 社会	兼任	講師	ヤドシロ タカオキ 宿城 高興 <平成23年4月>	69 (高)	千葉学 I 社会	科目名変更(23) 担当者変更(24) 専任採用
兼任	講師	タナカ カズヒコ 田中 和彦 <平成23年4月>	51	世界の民族	兼任	講師	タナカ カズヒコ 田中 和彦 <平成23年4月>	51	世界の民族と宗教	科目名変更(23)
兼任	講師	ハラヤマ コウスケ 原山 浩介 <平成23年4月>	38	社会学入門 世界の農業	兼任	講師	ハラヤマ コウスケ 原山 浩介 <平成23年4月>	38	世界の食と農	科目名変更(23)
兼任	講師	ドイ カオリ 土井 香乙里 <平成23年4月>	39	異文化コミュニケーション	兼任	講師	シマカワ ヨウイチ 嶋川 洋一 <平成23年4月>	39	異文化コミュニケーション	担当者変更(23)
兼任	講師	カネコ タケハル 金子 武治 <平成23年4月>	71 (高)	現代人口論	兼任	講師	カネコ タケハル 金子 武治 <平成23年4月>	71 (高)	現代人口論	廃止科目(23)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>		年齢	担当授業科目の名称
兼任	講師	ワタナベ シュウロ 渡部 周子 <平成23年4月>	36	ジェンダーと社会	兼任	講師	ワタナベ シュウロ 渡部 周子 <平成23年4月>	36	ジェンダーと社会	廃止科目(23)
兼任	講師	ナカムラ マサミ 中村 昌美 <平成23年4月>	55	民法 I	兼任	講師	ナカムラ マサミ 中村 昌美 <平成23年4月>	55	民法 I	廃止科目(23)
兼任	講師	コニシ ノリオ 小西 紀男 <平成23年4月>	70 (高)	教育法規 教育行政	兼任	講師	フクダ ヤスシ 福田 鎔 <平成24年4月>	65	教育法規 教育行政	担当者変更(24)
兼任	講師	ウエノ マサミチ 上野 正道 <平成23年4月>	36	時事演習	兼任	講師	ウエノ マサミチ 上野 正道 <平成23年4月>	36	時事演習	廃止科目(23)
兼任	講師	ナガイ リョウ 永井 亮 <平成23年4月>	39	児童福祉論	兼任	講師	ヤハギ コミコ 矢作 由美子 <平成23年4月>	47	児童福祉論	担当者変更(23)
兼任	講師	ドイ ジン 土井 仁 <平成23年4月>	64	理科 理科の観察実験 I 初等理科指導法						
兼任	講師	ハッタ アツコ 八田 厚子 <平成23年4月>	55	こどもの心と体						担当者変更(24) 専任採用
					兼任	講師	シラカワ リエ 白川 理恵 <平成23年4月>	42	フランス語 I フランス語 II	23年度より担当者決定(23)
					兼任	講師	アサノ シンジ 浅野 信二 <平成24年4月>	36	フランス語 I フランス語 II	担当者変更(24)
					兼任	講師	オオヤギ ヒデオ 大八木 ヒデオ <平成23年4月>	31	日本地誌	23年度より担当者決定(23)
					兼任	講師	トダ マナツ 戸田 真夏 <平成24年4月>	48	日本地誌	担当者変更(24)
					兼任	講師	サライ マハト アバ グリー <平成23年4月>	57	外国語特殊 I 外国語特殊 II	23年度より担当者決定(23)
					兼任	講師	イトウ イレコ 伊藤 礼子 <平成23年4月>	57	英語学概論	23年度より担当者決定(23)
兼任	講師	ナガトロ マサユキ 長戸路 政行 <平成23年4月>	81 (高)	敬天愛人講座※						
兼任	講師	タテノ ツギオ 館野 受男 <平成23年4月>	81 (高)	敬天愛人講座※						
兼任	講師	コイデ ヨシオ 小出 義雄 <平成23年4月>	71 (高)	敬天愛人講座※	兼任	講師	カクタ アキラ 角田 敬 <平成24年4月>	68 (高)	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
兼任	講師	マツマル アキコ 松丸 明子 <平成23年4月>	64	敬天愛人講座※	兼任	教授	サンベイ トシオ 三幣 利夫 <平成24年4月>	65	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
兼任	講師	ホシ マサミ 星 真実 <平成23年4月>	43	敬天愛人講座※						
兼任	講師	キクチ マユミ 菊地 真弓 <平成23年4月>	40	敬天愛人講座※	兼任	准教授	カネコ リンタロウ 金子 林太郎 <平成24年4月>	34	敬天愛人講座※	担当者変更(24) オムニバス授業
兼任	講師	ヒラノ トモミ 平野 智美 <平成23年4月>	78	敬天愛人講座※						退職による(24)

- (注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「**届出時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該科目を記載する必要はありません。

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	4	1	0	9	0	4	4	2		10		平成23年3月 1名退職 平成24年4月 2名採用
(4)	(4)	(1)	()	(9)	()	[]	[]	[1]	[]	[1]	[]	(24)

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	澤崎 眞彦	教職課程再課程認定に当たり、中教審より教員資格上の指導があったため担当者を変更(23)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

後任者は、教員資格も適格であり、教授として採用した。開設年度となるため学生への影響はないものと思われれます。(23)

在学生ガイダンスにて学生に履修説明。(23)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (2011年5月)	国際学部こども学科の入学 定員超過の是正に努めること		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (2012年5月)		小学校教員養成課程を置く 「こども学科」への志願者の 増加傾向は、教育の敬愛に対 する信頼と期待であると捉え ると共に県内及び周辺都県に おいて小学校教員の採用が見 込まれ、小学校教員の養成が 必要と判断し、定員増を行っ た。(24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (2013年5月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<国際学部 こども学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。
① 入学定員 50名	① 入学者 65名(23) 本年度の入試に当たり、一般入試Ⅰ期・Ⅱ期の歩留まり率が前年度実績(地域こども教育専攻との比較)を大きく上回り1.3倍の入学者となった。次年度以降については、定員を順守するよう努めたい。(23) ① 入学定員の変更 50名 → 70名(24) 入学者 60名 高まる教育ニーズに対応すべく指導体制の強化(専任教員の新規採用)と教育内容の充実(各授業の少人数化)を図り地域社会の要請に応えるため入学定員を変更した。認可承認を得た時期が2月であり、募集活動を行うことが出来ない状況であったため、定員割れとなった。次年度以降については、適切な広報活動を実施し、定員確保に努めたい。(24)
② 平成23年度解説授業科目の年間開講数(クラス数)実習・実験・実技を伴う科目 情報処理・書写・家庭・理科・音楽(各1クラス)	② 入学者が予想を超えたことにより、適正な授業運営を図るため開講コマ数を増加した。左記の科目については、届出時の担当教員により1クラスを追加開講している。 今後も事業形態・内容に照らして必要なコマ数増の措置を講じていく予定である。 情報処理 2クラス ・ 書写 2クラス ・ 家庭 2クラス 理科 2クラス ・ 図工 2クラス (23)
③ 電子ジャーナル21種	③ 電子ジャーナル(データベース契約)について、日経テレコンとは、2種の(定額制と重量制)契約を締結しており、重量制を利用することにより、毎日新聞・産経新聞の利用が可能となり、2社との契約を締結しなかったため19種となった。(23)
④ 参観実習の実施	④ 4年次の教育実習に向け、事前指導の一環として、参観実習を義務付けている。主に千葉市内の小学校(7校)の協力を得て9月に実施し、教員を目指す学生の意識・意欲の向上の一助となっている。(24)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「敬愛大学FD委員会規程」（平成20年4月1日）を制定した。この規程に基づき、学長を中心とするFD委員会を設置した。

敬愛大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程 ・ ・ ・ ・ （規程の転載）

（目的）

第1条 この規程は、敬愛大学学則第2条第5項の規定に基づくFD活動を推進するために敬愛大学FD委員会（以下「委員会」という。）の運営等について定める。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 学長
 - 二 各学部長
 - 三 教務部長
 - 四 各学部の教務委員長
 - 五 学長が委嘱する委員 若干名
- 2 委員長は学長とし、副委員長は学長が指名した委員をもって充てる。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

（審議事項）

第3条 委員会は、各学部のFD活動が持続的に実施されるよう次の事項について審議する。

- 一 FD活動の企画立案に関する事項
- 二 FD活動の実施計画の立案に関する事項
- 三 FD活動の評価に関する事項
- 四 FD活動に関する情報収集と提供に関する事項
- 五 その他FD活動の推進に関する事項

（会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。
- 4 委員長は、委員の過半数をもって成立し、

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、修学支援室が処理する。

（改廃）

第6条 この規程は、委員会の議を経て大学評議会の承認を要する。

附 則

- 1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。
- 1 この規程は、平成21年11月 1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 第1回 F D 委員会（平成21年12月22日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第2回 F D 委員会（平成22年 2月23日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第3回 F D 委員会（平成22年3月30日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第4回 F D 委員会（平成22年5月25日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第5回 F D 委員会（平成22年9月21日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第6回 F D 委員会（平成23年3月1日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第7回 F D 委員会（平成23年5月24日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第8回 F D 委員会兼学園合同研修会（平成23年8月22日）
出席者：敬愛大学全教員、千葉敬愛短期大学全教員
- ・ 第9回 F D 委員会（平成23年10月4日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長
- ・ 第10回 F D 委員会（平成23年12月6日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、
国際学部教務委員長

c 委員会の審議事項等

- ・ 第三者評価に関する事項
- ・ 他大学の F D 活動の研究に関する事項
- ・ 平成23年度の F D 活動に関する事項
- ・ 学生による授業評価に関する事項
- ・ F D 研修会に関する事項
- ・ その他、今後の F D 活動の運営に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

1. 授業評価アンケート
 - ・ 学生による授業評価アンケートとして実施した。
2. FD講演会
 - ・ FD活動と大学の教育力向上について理解を深めるための啓蒙活動として実施した。
 - ・ 3. 11の東日本大震災を教訓とした、大学の安全管理・危機管理能力向上について理解を深めるために実施した。
3. FD研修会
 - ・ 初年次教育としての1年「基礎演習」のあり方について理解を深めるために実施した。
 - ・ 現代大学生の生活と意識調査を分析し、学生に対する理解を深めるために実施した。
4. 学生満足度調査
 - ・ 学生による大学の生活実態調査をアンケート調査として実施した。

b 実施方法

1. 授業評価アンケート
 - ・ 全教員（専任、非常勤）が実施することを原則とした。
 - ・ 演習・オムニバス・特別教育科目を除いて、開講科目すべてについて実施した。
 - ・ 学生の回答は無記名方式とし、授業評価アンケートが当該科目の評価に影響しないように配慮した。
2. FD講演会
 - ・ 濱名篤氏（関西国際大学学長・理事長）を講師として、全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。（平成22年6月29日）
 - テーマ：大学の教育力を高める者は何か ―関西国際大学初年次教育からの提言―
 - ・ 堀口瑞穂氏（SUSUPPORT 代表）を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。（平成23年8月22日）
 - テーマ：私立学校の教職員がもつべき危機管理意識（東日本大震災を教訓として）
3. FD研修会
 - ・ 高田洋子（国際学部教授）、畑中千晶（国際学部准教授）を講師として、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、初年次ゼミの重要性について周知を図った。（平成22年11月30日）
 - テーマ：初年次教育としての「1年基礎演習」をどう運営するか。
 - ・ 武内 清（国際学部教授）を講師として、学生のアンケート集計を基に、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、今後の大学のあり方について再考するものとする。（平成24年2月24日）
 - テーマ：現代大学生の生活と意識
4. 学生満足度調査
 - ・ ゼミの授業時間中、所属学生に対し無記名による大学満足度調査を実施し、FD研修会の検討資料とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 授業評価アンケート

- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
- ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。

2. FD講演会・FD研修会

- ・ 全専任教員（出張、公務等で不在の者を除く）が参加した。
- ・ 窓口対応等で席を外せない者を除いて、多くの事務局職員も参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 授業評価アンケート

- ・ 学生の回答（選択式）、要望（記述式）を踏まえた「授業改善報告書」の提出を義務付ける。
- ・ 教員は、授業アンケートの実施、集計結果の確認、「授業改善報告書」の提出等通じて、次の評価に向けて授業の改善を図ることに努めている。

2. FD講演会・FD研修会

- ・ 初年次ゼミが初年次教育の中核であることを理解するとともに、初年次ゼミの内容および方法について教育（授業）実践を通じて継続的に研究、検討を重ねていくことの必要性を確認した。
- ・ 現代大学生の実態調査を通じて、今の学生気質を把握することにより中退抑止等学生指導の充実に努める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
- ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。
- ・ アンケートの実施は、最終講義日に実施し、結果を集計し次年度以降の授業改善に繋がるようにした。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業開始に合わせ、アンケートの集計結果を全教員に配布し、併せて学内において全教職員が閲覧可能とした。
- ・ 図書館内に授業評価を集計した冊子を配架し、学生が閲覧可能とした。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学則第2条第3項の規定に基づき、平成23年度の教育・研究水準の向上と活性化を図る目的とし、これらを全学的な委員会、教育研究部会及び管理運営部会を通じて達成を図った。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年4月 公開

b 公表方法

・大学ホームページ上での公開

・私立大学協会加盟大学、千葉県内の大学及び近隣図書館等に各1冊を配布

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に大学基準協会へ申請予定

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2012年 10月 1日)